



再 さかいで発見! vol.5 「讃岐の名工久保田家と坂出」

久保田家は讃岐（高松市香西本町）が誇る代々大工を続けてきた家系です。手がけてきた建物は神社仏閣を中心に学校などの公共建築物、地域は香川・岡山を中心に近畿・九州遠くは北海道にまで及び、江戸時代中期から昭和30年代に至るまでの19代にわたってたどることができます。

市内でも旧坂出町・林田・王越・松山の病院、坂出町・松山・加茂・府中・林田の尋常（高等）小学校、八坂神社・総社神社・高屋神社・久米神社・白峯寺鐘楼、その他公民館、個人宅など多くの建物の新築・改修の設計建設に携わりました。

讃岐に全国的に有名な名工が存在し、市内にも多くの足跡が残されています。惜しまらくはその多くが現存していないことです。

高松市歴史資料館に図面・下絵などが保存されています。

※参考文献 神奈川大学建築士研究室発行「近代をつくった大工棟梁」



旧北海道庁立図書館(大正15年) 出典「国立国会図書館」

現在



菓子製造業「北菓樓」札幌本館



八坂神社本殿[林田町](明治2年)
現存



旧和歌山県会(明治30年) 大正2~6年頃修繕に携わる
重要文化財 平成24~27年度建設当時の姿に復元



白峯寺鐘楼(明治40年)
現存

編集後記

小津安二郎監督の不朽の名作「東京物語」を観て驚いたことがある。年老いた母が東京見物から帰った直後に急死。葬儀にかけつけた東京に住む長女が「大往生よ」と言うのだが、劇中の母親の年齢は68歳…後にスマホで検索して腑に落ちた。映画が公開された昭和28年(1953)の女性の平均寿命は65.7歳で、昨年の女性の平均寿命より21歳余りも短いのだ。

今や人生100歳時代に突入したとまで言われる超高齢化社会。年金を始めとする社会保障制度や膨らみ続ける財政赤字の削減等、劇的に変化する社会構造や世界情勢に政治が全く追いついていない感がある。国だけではない、地方も同じだ。これまで当たり前だと思い込んでいた常識を疑い、新たな「解」を市民と共に模索し、速やかに行動に移す。多様な価値観を持つ市民の厳しい視線が、行政、そして議会に注がれていることを改めて忘れてはならないと思う。

(出田)

広報広聴委員会 委員長……植原 泰 副委員長……若杉輝久
委員……東原 草 鳥飼年幸 村井孝彦
出田泰三 松成国宏 楠井常夫

表紙の写真

上:「おさななじみ」

坂出商業高等学校 1年 清水 咲良さん

市内の商店街で仲良く遊んでいた幼なじみ3人。みんな、それぞれの個性があって、とても楽しく撮影できました。これから先も仲良く自慢の幼なじみでいて欲しいと思いました。

下:「祭りの合図」

坂出商業高等学校 2年 大中 陽さん

坂出市のお祭りを撮らせていただきました。お祭りのオープニングを飾るのにふさわしく、力強さと真剣さがとても印象的でした。最初から最後まで気を抜くことなく打ち続けるその姿に惹かれシャッターを切りました。

次回開催は…

12月定例会を12月上旬に開催予定です。



HP QRコード